WEEKLY REPORT ROTARY CLUB OF NAGOYA AIRPORT since 29 July,1974

2021-22 年度 RI テーマ：奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために
ガバナー方針：「チェンジロータリー 新時代への成長に！」― コロナゼロ・カーボンゼロ支援 ―
クラブ方針：「楽しく、優雅なロータリー活動を」～ Enjoy & Grace Under Pressure ～

奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

名古屋空港ロータリークラブ
名古屋市中村区名駅 3-11-13 レジデンス鈴木 1101
【TEL】052-446-6811【FAX】052-446-6812
E-Mail: rongoapt@mta.biglobe.ne.jp
会長/ 田邊 雅彦
幹事/ 川口 直也
公共イメージ向上委員長/ 杉本 敦永
例会日/毎週月曜日 12:30～13:30
例会場/名古屋マリオットアソシアホテル

空太くん

第 2083 例会

2022 年 2 月 14 日（月） 第 22 回

●点　　鐘　会長　田邊　雅彦　君
●斉　　唱　「それでこそロータリー」
●例会行事　外部卓話　日本ゴルフ同友会会長
中西　弘安　様
「ゴルフとゴルフ会員権について」
●ゲスト　米山　留学生　張　申童　様
●司　　会　稲熊　正徳　君　SAA 委員

会長挨拶

名古屋空港ロータリークラブ会長　田邊　雅彦　君

会員の皆様、こんにちは。

本日は外来者卓話として日本ゴルフ同友会会長の中西弘安(なかにしひろやす)様においでいただいております。中西様、卓話よろしくお願い申し上げます。

また、本日は米山奨学生の張申童さんにもお越しいただいております。張申童さん、よろしくお願いします。

また本日、皆様のお手元にチョコレートがあるかと思いますが、それは事務局お二人からのバレンタインチョコレートです。

来週の例会は例会変更で 23 日(水)11 時半から豊山町社会教育センターにて地区補助金事業を開催いたします。当日は、西春日井区保護司会の皆様にも参加いただき「社会を明るくする運動・宇梶剛士氏講演会」となりますので、会員の皆様何卒ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

尚、当日はコロナ禍、オミクロン株の影響でプログラムを一部変更させていただき、中部フィルハーモニー交響楽団の首席奏者であり、名古屋音楽大学の講師でもある河井裕二様によるチェロ演奏を披露していただけることといたしました。

さて、オミクロンによる新規感染者増加に伴い、まん延防止等重点措置が来月、３月６日まで延長されることとなりました。身近では長男家族の１歳の孫に陽性反応が出まして、一家そろって籠城生活になっております。そのような中、２月４日から 20 日まで開催されている北京オリンピックも佳境に入ってきましたね。真夏の東京オリンピックも盛り上がりましたが、冬のスポーツ、アイスホッケー、カーリング、ボブスレー、スピードスケート、そしてフィギュアスケートと見どころ満載です。まして日本勢が頑張っている姿を見ていると詳しいルールを知らない私でも応援したくなります。

皆様もできるだけ不要不急の外出を控え、自宅でのんびりオリンピックを観ながらこの一週間を過ごされ、来週の地区補助金事業にご参加いただければ幸いです。

最後に、先週皆様にお伝え忘れていたことがありました。現在、2022-23 年度版のロータリー手帳を１部 660 円で予約受付中ですので、ご要望の方は事務局まで申し付けください。付録として「ロータリー関連資料」も付いております。受付の締め切りは２月 25 日です。それでは、本日もよろしくお願い申し上げます。

委　員　会　報　告

●出席報告　（内海　辰巳　副委員長）

本日の例会						
会員数		45	出席率		83.72%	
出席者	出席義務者	23	欠席者	出席義務者	3	
	出席免除者	15		出席免除者	4	
	出席者計	38		欠席者計	7	

●ニコニコボックス報告（稲吉　將秀　副委員長）

日本ゴルフ同友会会長中西弘安様、本日はありがとうございます。卓話よろしくお願いいたします。
張申童さん、ようこそおいでくださいました。
田邊　雅彦　君

中西様、卓話よろしくお願いします
川口　直也　君

今日も元気で皆様に会える喜びで。
山田　幹雄　君

日本ゴルフ同友会中西会長の卓話よろしくお願いします。
三治　明　君

中西様、卓話よろしくお願いいたします。
近藤　和彦　君

当クラブのメンバーであった中西さんをお迎えして卓話で再会できた喜び
鈴木　恵一　君

本日の卓話をされます中西さんにエールを送りたいと思います。
太田　哲郎　君

中西様　卓話よろしくお願い致します。
内海　辰巳　君

今日も元気で！

中林　正人　君	市川　孝　君	杉本　敦永　君
高山　光雄　君	稲吉　將秀　君	武田　英昭　君
稲熊　正徳　君	入谷　宏典　君	山北　秀和　君
暮沼　勇二郎君	金井　和治　君	國田　武二郎君
安川　正勝　君	伊東　由之　君	原田　好展　君
前田　幹太　君	中島　俊朗　君	波多野　真　君
真城　壮司君	田中　秀典　君	照井　通夫　君
北園　守生　君	大野　和宏　君	阿萬　裕子　君
山内　佳紀　君	伊藤　康司　君	

本日の協力	34 名	54,000 円
本年度の協力累計		723,000 円

卓話

日本ゴルフ同友会会長 中西　弘安様
「ゴルフとゴルフ会員権について」

・ゴルフルールについて

ゴルフのプレイにルールが作成されたのはゴルフが始まってから、かなり遅く１７４４年になって初めて、スコットランドのリースに結成された「オナラブル・カンパニー・オブ・エジンバラ・ゴルファーズ」が１３条のルールを成文化したのが始まりであります。
それでは何故このようにルールの成立がおくれたのでしょうか。それは歴史的に見てゴルフがプレーされ続けれた初期のゴルフは全てマッチプレイであったことに起因しているのです。それは１人対１人または１人対２人、２人対２人のマッチプレイで行われていたことでプレーするお互いの取り決めによって勝負を決めていればよかったのです。
ところが 1744 年にエジンバラ市がアマチュアゴルフ大会を企画し勝者に銀製のゴルフクラブを寄贈することになって、この競技大会に多くの人々が参加することを予想、必要上から「オナラブル・カンパニー・オブ・エジンバラ・ゴルファーズ」が成文化した 13 条のルールで勝者を決めることにしたのです。そして１ラウンドの最も少ない打数でラウンドしたものを優勝者としたので

す。これがストロークプレーの始まりとなったのです。
次に考えられた調節はクラブ（道具）を制限する方法で下手なプレイヤーが上手な相手に対して使用するクラブの本数を指定し制限するものでした。
その後ビスクという方法が考えられ、これもプレイヤー相互の自由な取り決めですが３ホールまたは２ホール、３ホール等と先取点（ワンストローク）の先取点を買って勝負する方法か或いは指定のホールをあらかじめ決め、そのホールに先取点を買って勝負するものや、ホールの終了後に相手に先取点を通告する方法などを選択できるとした調節方法も盛んに行われていました。
　今日のゴルファーの皆様方が認識をされていますハンディキャップにつきましては語源から申しますとハンド・イン・キャップが定説で直訳すれば「帽子の中の手」となりゴルフとは全く無関係でありますがその言葉のルーツを探ってみると昔英国で盛んにおこなわれていた種々のゲームの中で運不運からくる不公平の均衡を保ち、損得を是正する方法として勝ち続ける人に罰則として帽子の中にお金や手を入れさせゲームを楽しんでいたことから、それをマネー・イン・キャップと呼べるようになり負け組（弱者）に対して勝ち組（強者）は相応の負担をさせる意味言葉として使われるようになったのです。
　今日このハンディキャップを採用しているのはゴルフと競馬で、競馬については 1750 年ジョッキークラブが英国で創立された時レースの公平を期すため競走馬の体重差を均等に保つため砂袋を馬の背に取り付け、それをハンディキャップと称しています。
　ゴルフにハンディキャップの用語が使われるようになったのは 1759 年５月９日付でストロークプレーが競技方式として採用された後であります。
濫觴期のゴルフは全て２人のプレイヤーによるマッチプレイー辺倒であり、２人のプレイヤーが相互の取り決めに従って決められたホール数を争うものでその場合、技量に差のある二人が勝負するとき、それを調整し勝負を争ったのです。そうした調整、調節が今日のハンディキャップなのです。最初に考案された調節は距離による方式で上手なプレイヤーは下手なプレイヤーの 20 ヤードから５０ヤード後方からティーショットするものでこれが今日バックティ、フロントティと呼ばれ定着しているものです。当時はバックティをタイガーティ、フロントティをラビットティと呼んでいた時期もありました。

・ゴルフクラブの制限について（１４本）
ゴルフの歴史から考えても比較的に新しく、そのきっかけとなったのは 1934 年英国のプレストウィックで開催された全英アマチュア選手権で米国から初参加したローソン・リトル選手が 23 本のクラブを持参して参加。当時の英国のトップアマでこの大会の優勝候補の英国のトップアマのジェームス・ウォーレスを決勝で 14－13（マッチプレイ）の大差で破り勝利したのがきっかけとなりクラブの本数の制度が英国内で言われるようになった。当時、米国では一般のアマチュアゴルファーは 20 本ほどでプロゴルファーは 20 本ほどでプロゴルファーは 24 本から 28 本が普通であった。
　例えばプロのハリー・クーパー27 本、ウォルター・ヘーヂン 25 本、トミー・アーマー24 本、シーンサラゼン 24 本。
ちなみにボビー・ジョーンズがグランドスラムを達成したときは 18 本のクラブを持って参加。
英国では 10 本程度、プロでも 12 本程度であった。英国のゴルフ界はこれがきっかけとなって制限論が強くなった。米国ではクラブ制限論はナンセンス、しかし英国では制限論が日増しに強くなって R&A のロバート・ハリス、ハーバード・ダーウィンチなどが R&A の規則委員会で制限論を提出し、満場一致で認められ 1936 年決定。USGA に通達され USGA も 1938 年以降は 14 本となった。
　米国では多くのメーカーが反対、プロゴルファーも反対したが USGA は認めたボビー・ジョーンズ氏も OK した。